

※Thunderbirdで受信した場合、「プライバシー保護のため、このメッセージ内のリモートコンテンツをブロックしました。」と表示が出るがありますが、「オプション」をクリックいただき、「yukarinokai@adb.shizuoka.ac.jpからのリモートコンテンツを許可する」をご選択ください。



静岡大学ゆかりの会 メールマガジン

第11号(2023年6月21日)

梅雨シーズンが本格的に到来し、梅雨の晴れ間が待ち遠しく蒸し暑い日が続く毎日です。体調を崩しやすい季節ですが、お身体にはお気をつけください。
静岡大学の最新情報をお届けします。ぜひご覧ください。

— 静大トピックス —



浜松光宣言2023調印式・シンポジウムを開催しました

[詳細はこちら](#)

小山 真人 教授（学術院教育学領域）が 文部科学大臣表彰「科学技術賞」を受賞

[詳細はこちら](#)



令和5年度全学一斉地震防災訓練を実施しました



【教育学部】公開講座「安心登山のための読図とナビゲーション」を開催ー山歩きに必須の地図アプリで実践ー

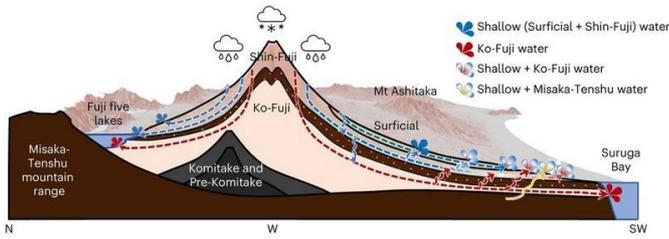


【教育学部】子どもの「やってみたい!」を支えるために…教育学部附属幼稚園で「遊びの中のリスクマネジメント」公開講座を開催しました



— 研究 —

地下深部からも流れ出る富士山の湧水 ヘリウム同位体、バナジウム、微生物DNA を駆使した新たな地下水へのアプローチに成功



[詳細はこちら](#)



【完成！家康公ゆかりのクラフトビール】
「発酵とサステナブルな地域社会研究所」の
活動が静岡新聞に掲載されました

[詳細はこちら](#)

— 学生生活 —



【地域創造学環】学生デザインの軽自動車税
種別割の啓発品を配布しました（静岡キャン
パス）

[詳細はこちら](#)



【陸上競技部】井上香里さん・小名陽日さん
日本学生陸上競技対抗選手権大会（インカ
レ）に出場決定！

[詳細はこちら](#)

【丸山 桜さん（人文社会科学部）】ルーマニ
アでの「和太鼓コンサート」が大盛況！和太
鼓で友好関係深まる



詳細はこちら

ー イベント情報 ー

静岡大学管弦楽団
第109回定期演奏会

指揮 山上紘生
ソリスト 近藤葵

7/1 2023 (土)
14:00開場 14:30開演

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン
交響曲第7番 イ長調 Op.92
エドワード・グリーグ
ピアノ協奏曲 イ短調 Op.16
ウィリアム・ウォルトン
宝玉と勺杖

【会場】
静岡市民文化会館 大ホール

【入場料金】
800円 全席自由

【お問い合わせ】
主催：静岡大学管弦楽団
後援：静岡市・静岡市教育委員会
静岡大学管弦楽団 E-mail
Sou.concert.section@gmail.com

QRコード <チケット予約はこちらから

弦楽器専門店シャコンヌ
CHACONNE
dealers of fine violins
弦楽器の修理・調整・楽器の修理・毛替え
ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロと低音の輸入販売
*楽器レンタル (オリジナルから初心者用楽器まで) *

出張修理・試奏会 開催予定
8/23(水)~8/25(日)
@アクティシティ浜松 音楽工房ホール
搬入した楽器・付を
展示販売します。

シャコンヌ銀座店 シャコンヌ東京吉祥寺店
HP:www.chaconne.info
Twitter:@chaconne_violin
Facebook:chaconne.violin.dealer
Instagram:chaconne.violin

ON STAGE SHIZUOKA

詳細はこちら

【静岡大学管弦楽団】第109回定期演奏会 開催のお知らせ

開催日：2023年07月01日(土)
時間：開場14：00 開演14：30
場所：静岡市民文化会館 大ホール
参加費：800円（全席自由） ※未就学児のご入場はご遠慮下さい
チケット予約は [こちら](#) から

静岡大学・読売新聞連続市民講座2023「社会を読み解く、社会を拓く」のご案内

第1回 | 「人工衛星とAIで切り開く農業の未来」
講師：菌部 礼（静岡大学農学部・准教授）

開催日：2023年7月08日(土)
時間：14:00-16:00
場所：あざれあ（静岡県男女共同参画セン

静岡大学 読売新聞社

静岡大学・読売新聞連続市民講座 2023 全5回

社会を読み解く、 社会を拓く

「電子情報、経営、紛争の由来は、現代社会またたきの課題を拓き、その表面を代表するようになった様々な視点で諸問題を本来的な新大社会を拓く」とする取り組みも含まれています。
2023年度の静岡大学・読売新聞連続市民講座は、歴史にながら、種々の「ベネッセ」情報等を「プロ」で読解し、歴史にながら、可能性を拓く方法を探ります。

■時間 / 14:00～16:00 ■定員 / 各回250人
■会場 / あざれあ(静岡県男女共同参画センター)6F大ホール
※会場の駐車場はご利用いただけません。
※4回以上ご参加の方には修了証を発行します。
※本講座はしずおか県民カレッジ対象講座です。

参加無料
事前申込制

第1回 2023.7.8 (土)
人工衛星とAIで切り開く農業の未来
講師: 園部 礼 (静岡大学農学部准教授)

第2回 2023.8.19 (土)
古文書から読み解く社会
講師: 松本 和明 (静岡大学人文社会科学部准教授)

第3回 2023.9.9 (土)
先史考古学で読み解く人類社会の発展
～ホモ・サピエンスの誕生に遡って歴史を俯瞰する～
講師: 山岡 拓也 (静岡大学人文社会科学部准教授)

各講座の詳細は裏面をご覧ください。

第4回 2023.9.30 (土)
変革する情報教育
～デジタル市民として期待されていること～
講師: 遠山 紗矢香 (静岡大学情報学部講師)

第5回 2023.10.21 (土)
生成系AIと自然言語処理
～今できることと課題点～
講師: 狩野 芳伸 (静岡大学情報学部准教授)



いすれかの方法でお申込みください。(先着順、当日申込不可)。

申込方法
WEB <https://www.is.shizuoka.ac.jp/event/003782.html>
※QRコードからもお申込みいただけます。
E-Mail kaho@sumi.cil.shizuoka.ac.jp
FAX 054-238-4295
A/TEL 〒422-8529 静岡市駿河区大谷B36
静岡大学地域創造教育センター・地域人材育成・プロジェクト部門
※郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号、メールアドレス、参加回を明記してください。

お問い合わせ
静岡大学地域創造教育センター
地域人材育成・プロジェクト部門
TEL 054-238-4817 (平日9:30～16:00)
E-Mail kaho@sumi.cil.shizuoka.ac.jp

静岡大 生涯学習 橋表

主催 / 静岡大学、読売新聞静岡支局

※ご提供いただいた個人情報は本講座の運営および公開講座に関する情報の送付のみに使用させていただきます。

[詳細はこちら](#)

ター) 6F大ホール
参加費：無料
お申込み：[こちらから](#)

UNIVERSITY OF Nebraska Omaha

特別講演

From Mt. Fuji to Mt. Zion: Religion in Times of Crisis

2023年 6月22日 木

SPECIAL GUEST
DR. CURTIS HUTT

ネブラスカ大学オマハ校 (UNO) の宗教学教授 Curtis Hutt 先生による講演会を開催します。UNOは静岡大学の最初の大学間交流協定校であり、1979年の協定締結から多数の学術・学生交流が続けられました。40周年となる2019年には Curtis 先生も実行委員となられて、静岡キャンパスで国際フィッカル・カンファレンスが共同開催されています。ご専門は哲学・宗教学で、なかでもユダヤ教やキリスト教の思想・歴史を中心に研究をされてきました。今回の講演では UNO の紹介や学生時代のエピソードもまじえてお話しいたします。ぜひご参加ください。

時間 13:00～14:30
参加費 無料 (申し込み不要)
会場 教育学部B棟 1F 学生ラウンジ (静岡キャンパス)
問い合わせ
E-Mail: fujii.motoki@shizuoka.ac.jp

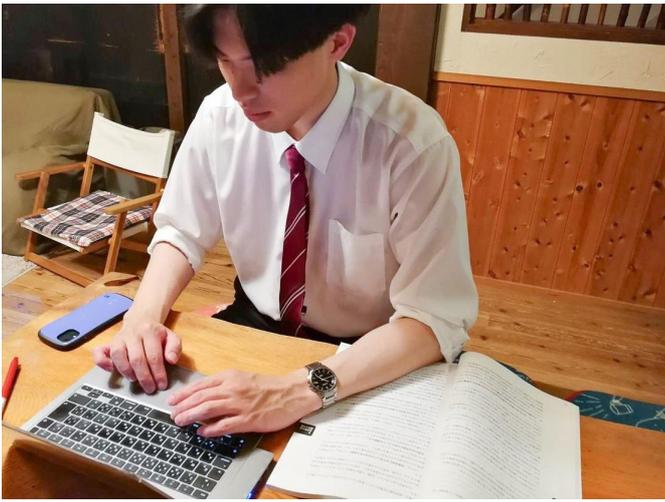
[詳細はこちら](#)

ネブラスカ大学オマハ校 (UNO) カーティス教授による特別講演を開催します

タイトル 「From Mt.Fuji to Mt.Zion : Religion in Times of Crisis」
開催日：2023年6月22日(木)
時間：13:00～14:30
場所：教育学部B棟 1F 学生ラウンジ
入場料：無料(お申込み不要)

ー キャンパスの日常 ー

このコーナーでは、静岡時代編集部が静大生のキャンパスライフを写真と共に紹介します。



メールマガジンをご覧の皆さま、こんにちは！教育学部3年の畠山です。

教育学部といえば、なんといっても2年から始まる教育実習です。

私もつい先日、2回目となる教育実習があり、静岡大学教育学部附属浜松中学校へ3週間実習に行ってきました。附属の学校は実習生に慣れている生徒が多いのが特徴で、初日から歓迎会を各クラスで催してくれたり、生徒の方から積極的に話しかけてくれたりと、温かい雰囲気です。

実習の2週目までは、授業や教材研究等で忙しく、「学校の先生の仕事って大変だ」と率直に思いました。しかし、3週目になると授業中のトークやスライド・プリント等の質が上達したことで生徒の反応も良くなり、授業を楽しむことができるようになりました。また、生徒たちとの仲も深まり、子どもたちとの関わり合いこそが教職の魅力なのだと感じられました。

(写真は、授業の指導案をつくっている様子と、生徒からもらったメッセージなどです)

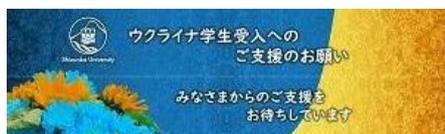
実習前は不安や緊張から「早く終わらないかな」とすら考えていましたが、今ではお世話になった先生方や生徒たちに会えないことがとても辛く感じられます。他の実習生たちも同様の気持ちになったのではないのでしょうか。

以上、教育学部（主に教育実習）についての紹介でした！
最後まで読んでいただきありがとうございます。

静岡時代編集部のウェブサイトはこちら



ー リンク一覧 ー



◇お問い合わせ

静岡大学 広報・基金課 基金係

TEL:054-238-5183 FAX:054-238-4450

Email:yukarinokai@adb.shizuoka.ac.jp

※本メールマガジンが無断転載することは禁止されております。

※メールマガジン ニュース・イベント投稿フォームは [こちら](#)から

※メールマガジンの配信停止（ゆかりの会の退会）は [こちら](#)から